

内容 1 景観形成の基本指針

関内駅前地区のまちづくりでは

- 関内地区の玄関口としての風格のある景観と、多くの人で賑わう魅力的な駅前空間の形成
- 大通り公園から横浜公園、さらに海沿いへとつながる緑の軸線沿いの魅力ある歩行者空間の形成
- 「開港の地」としての歴史性

を普遍的な景観形成上の要素として継承。

内容 2 中低層部のあり方 歩いて楽しい空間づくりー広場

新たなまちを印象づける、象徴となる広場空間の形成が求められます。

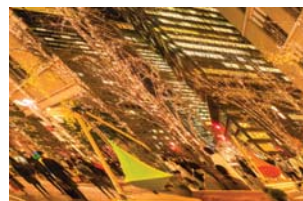
また、広場は、誰もが利用でき快適な環境を提供し、イベント等で持続的に賑わいを生み出し、建物と広場・通りが一体的に利用されるといったマネジメントも期待されます。



参照事例A：広場の一体性
広場に面する各建物・施設のファサードや前空間を、広場との連続性を持って整備することで、全体としての統一性・一体性を生み出す



参照事例B：にぎわいの連続性
適切なマネジメント体制によって各建物や店舗で行われる、内部・外部空間でのイベントが、広場を介して連続性のある賑わいを生み出す



内容 2 中低層部のあり方 歩いて楽しい空間づくりー歩行者動線

関内駅前地区は、

- ・横軸：中華街・横浜公園方面とイセザキ・馬車道方面を結び、**都心臨海部全体の回遊性を向上**
- ・縦軸：日本大通り・横浜公園から大通り公園へとつながる都市軸(緑の軸線)や、みなと大通りシンボルロード化などによる**関内・関外地区の結節点として接続強化**

などの取組みを行う重要な位置であり、**周辺地域への回遊性を高めていく**ことが求められます。

また、関内の玄関口であることと、これまでの歩行者軸の再解釈と再構築について提案が求められます。

動線計画にあたっては、**屋外・屋内や直線的・路地的など、様々なタイプの提案**が考えられます。

さらには、移動することで**魅力的なシーンが展開していくように工夫**されることを期待します。



内容 2 中低層部のあり方 歩いて楽しい空間づくりー緑の見せ方

街区においては、緑の軸線など既存の緑との**連続性**をもたせるため、**緑の配置と演出の工夫は重要**です。歩行者の視線を意識した建物の緑化などにより**緑量感を演出**することで、落ち着いた**潤いのある空間を創る**ことができ、建物の長大感の軽減や環境配慮も重要です。



参照事例A：壁面緑化と歩行者空間
歩行者空間に程よい存在感で緑があることでより魅力ある空間となります



参照事例B：立体的な緑化
地上レベルから雑壇状に緑化を連続させ、緑量感を出す



参照事例C：集中的な緑化
中庭等その施設の内部的空間に緑化を集中させて個性と魅力を創出する

参照事例D：関内さくら通りの桜並木
季節感を演出し、街に彩を与える



参照事例E：防風・日除け
ビル風を避け、夏場の日陰にもなる、居心地の良い環境づくり



内容

2 中低層部のあり方
歩いて楽しい空間づくり—居場所

規模に関わらず、ふらりと立ち寄りたくなる、引き込まれるような多くの「居場所」が、高質で持続性あるマネジメントの仕組みとともに生み出されることが期待されます。



参照事例A：移動と滞留の共存
歩行者空間に歩行者のための滞留空間があることで、様々な過ごし方が生まれる



参照事例B：オープンカフェ
沿道沿いの建物内部の活動やにぎわいが歩行者空間にしみ出し、空間の魅力が増す



参照事例C：多様なアクティビティ
色々な人数・組み合わせの個人・グループが過ごすことのできる設え

参考：A街区で計画しているもの（駅前広場、くすのき広場、コーナー広場 など）



内容

2 中低層部のあり方
街並みの形成—周辺の街並みとの調和

- ・概ね31mの部分での形態意匠の分節
- ・雑多な中でも隣接する街区との景観的要素(素材、デザイン等)を連続してつなげていくことも期待
- ・玄関口としての風格あるデザイン



参照事例A：
分節箇所を隣地と揃え、連続性を持たせた街並み
歴史的建造物やその意匠特性・高さなども踏まえている



参照事例B：
周辺の素材・色味・リズム・スケール感などを意識しつつも、独自の個性も持つ。個別性と協調性のある街並み

内容

3 高層部のあり方

関内地区において高層の建築物を建てる場合は、**高層部の色彩や街並みとの向き・形態などによって、圧迫感の軽減**が求められます。一方で、今回の関内駅前地区には関内地区全体の活性化のため、これまでの関内地区になかった新しい機能や、ライフスタイルの提案が求められ、外観にも象徴性が一定程度必要です。

中低層部はこれまでの関内らしさを踏襲し、**高層部は中低層部とは明確に分節し、存在感を抑えたり、上昇感を感じさせる**など、再興する関内を象徴するような品格のある建物の表情を作っていくことを期待します。

内容

3 高層部のあり方
品格ある建物の表情

中高層部はオフィス・住宅・ホテルなどといった用途が想定されます。他地区の高層ビルとは違った個性を持たせ、**関内を象徴するような群像景**をつくっていくことを期待します。

建物毎の個性の表出や多様性がありつつも、**関内駅前地区全体、もしくは、隣り合う建物同士での共通性や関係性**を考えて計画することを求めます。

